

CVIT 2023 CMDセッションの紹介

熊本大学大学院 生命科学研究所 循環器内科学 教授／診療科長 | 辻田賢一

はじめに

本年2023年3月、わが国においても、冠攣縮ガイドラインのフォーカスアップデート版が日本循環器学会から発刊され、INOCA (ischemia with non-obstructive coronary artery disease) /MINOCA (myocardial infarction with non-obstructive coronary arteries) など冠微小循環障害CMD (coronary microvascular dysfunction) への注目が再度集まっている。CVIT 2023では、学会の中日と真ん中の8月5日土曜日、第3会場にてCMDセッションを1日通して開催予定である (表1)。

CMDの全体像とこれからの展開

オープニングセッションは、ガイドラインセッション。まずは、「2023年JCS/CVIT/JCC ガイドライン フォーカスアップデート版 冠攣縮性狭心症と冠微小循環障害の診断と治療」をおさらい頂く。ガイドラインには、CMDがどのように記載され、その診断と治療にどのような推奨が記載されたのか。ガイドライン班長の掃本誠治先生を座長に日本のトップオピニオンリーダーの講師陣にこのガイドラインのイロハを概説頂く。まだ十分にガ

表1 CMDの分類：虚血のみならず多くの心疾患にCMDは潜んでいる！

臨床分類	臨床症状	臨床診断	主要な病因
タイプ1 閉塞性冠動脈疾患や心筋疾患なし (微小血管狭心症)	狭心症 狭心症様症状	INOCA MINOCA たこつぼ症候群 PCI/CABG後	血管平滑筋機能障害 血管リモデリング 血管内皮機能障害
タイプ2 心筋症や弁膜症に併発するもの	呼吸困難 運動耐容能低下	糖尿病性心筋症 大動脈弁狭窄症 心アミロイドーシス 心ファブリ病 心筋炎 高血圧性心疾患 拡張型心筋症	血管平滑筋機能障害 血管リモデリング 内腔狭窄・閉塞 血管外からの圧排
タイプ3 閉塞性冠動脈疾患に併発するもの	狭心症 狭心症様症状	慢性冠症候群 急性冠症候群	血管平滑筋機能障害 血管リモデリング 血管内皮機能障害
タイプ4 医原性	時に無症状	PCI関連 CABG関連 移植心冠動脈病変	内腔狭窄・閉塞 自律神経機能障害 全身性炎症反応

(Crea F, et al. 2014¹³²⁾, 2022¹⁶⁾を参考に作表)

イドラインを読み込めていない虚血医、インターベンショナリストには是非聴講頂きたい (図1)。

次の午前中2つ目のセッションは、「マルチモダリティで考えるCMD：レジストリからの知見」である。上記ガイドラインセッションを理解いただいた上で、よりプラクティカルにCMDのデータをレジストリから読み解きたい。臨床的なCMDの最大の課題は、その診断モダリティである。非侵襲的診断モダリティ代表の核医学でCMDはどう映るのか？JROAD-DPCや国際共同レジストリのCOVADISやILLIASからCMDの最新データを学び、J-CMDやJ-ADVANCEといった今後の前向きなCMD

レジストリの展開を未来予想してみたい (図2)¹⁾。

CorMicA試験を読み解く!

メインセッションは、午後からの「CorMicA試験を読み解く！」セッションである。CorMicA試験は、カテ台でのCMD診断の意義を明らかに、薬理的介入のQOL改善効果を明確に示した。侵襲的・包括的精査 (interventional diagnostic procedure: IDP) の重要性を示し、本邦のインターベンショナリストの間でも大きな注目を集めている。本セッションでは、